

いばらき未来共創プラン

人が輝く元気で住みよいいばらきづくり

平成28年8月24日

茨 城 県

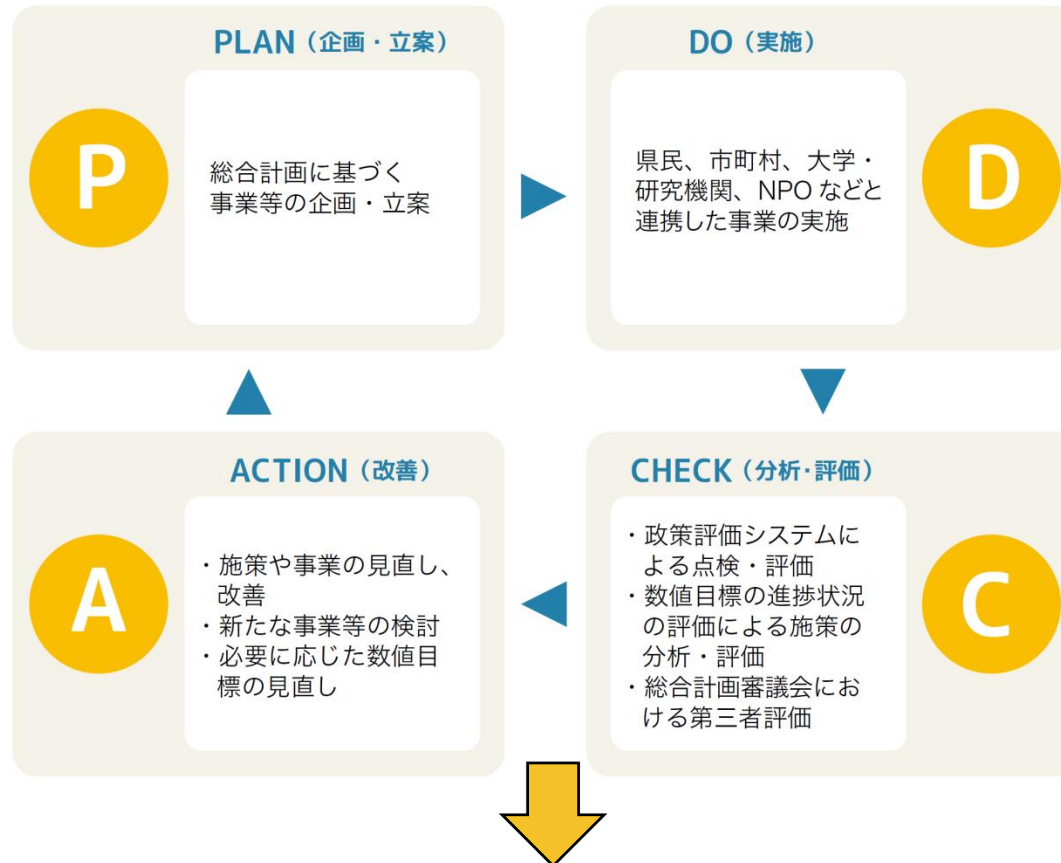
1	新しい県総合計画の推進体制	1
2	最近の茨城県の動き	7
3	人が輝くいばらきづくり	13
4	活力あるいばらきづくり	20
5	住みよいいばらきづくり	34
6	いばらきの魅力向上に向けて	40

1 新しい県総合計画の推進体制



県総合計画の推進体制

計画の推進には、適切な進行管理が必要



- 重点プロジェクトの推進に向け、プロジェクト毎に部局横断的な推進組織を設置
- プロジェクトマネージャーとしての担当部局等を設定

重点プロジェクト

「重点プロジェクト」は、「いばらきの目指す姿」の実現に向け、今後5年間に分野横断的に優先して取り組むべきテーマを設定したもので、本県の特性・優位性を最大限に活用しながら、積極的に課題の解決を図るもの。

(平成28年度～32年度の5年間)

1 ストップ少子化・移住促進
プロジェクト

2 いきいき健康長寿社会創造
プロジェクト

3 未来を拓く子ども・若者育成
プロジェクト

4 みんなが活躍できる環境づくり
プロジェクト

5 みんなで守る、暮らしの
安全・安心 プロジェクト

6 次世代に繋ぐ美しく豊かな環境
プロジェクト

7 未来を創る産業イノベーション
創出 プロジェクト

8 攻めのいばらき農業推進
プロジェクト

9 世界に開かれたたいばらきづくり
プロジェクト

10 観光おもてなし日本一
プロジェクト

11 魅力あふれる県北地域創造
プロジェクト

12 茨城国体,東京リリック・パ・リニック
ゆめ実現プロジェクト

重点プロジェクトの推進体制

茨城県総合計画推進要項の制定（H28.4.15）

庁議

プロジェクトマネージャー会議

（主催：企画部長）

プロジェクトチーム会議

12の重点PJごとに、プロジェクトマネージャー（次長級）が招集
（メンバー：関係課長）

○部局横断的な取組みによる計画の推進

- ・先進事例調査・報告
- ・重要政策の企画立案
- ・数値目標の進捗管理

重点プロジェクトの推進体制

プロジェクトチームの構成員及び役割

プロジェクトマネージャー【次長級】

- ・ 担当プロジェクトの総括
- ・ プロジェクトチーム員の指名
- ・ プロジェクトチーム会議の開催

プロジェクトチーム員 【課長級】

- ・ プロジェクトマネージャーの指揮を受け、担任する取組を推進

プロジェクトスタッフ 【課長補佐級】

- ・ プロジェクトチーム員の指揮を受け、担任する取組を推進
- ・ スタッフ会議の開催

重点プロジェクトの推進体制

実施状況

年月	実施項目	備考
28.4	第1回プロジェクトマネージャー会議	要項の制定
28.6	チーム会議の設置	
28.7	第2回プロジェクトマネージャー会議 各チーム会議の開催	重要政策の 検討
28.9	重要政策の立案	

2 最近の茨城県の動き



海外への情報発信

G 7 科学技術大臣会合の開催

G7茨城・つくば科学技術大臣会合 (2016.5.15-17)の開催

- ・会場:つくば国際会議場
- ・参加国:日本, イタリア, カナダ, フランス, 米国, 英国, ドイツ, EU
- ・議論の成果として「つくばコミュニケ」が取りまとめられるなど, 成功裏に閉幕。県としては, つくばに集積した最先端の科学技術の展示や会合参加者等へのおもてなしを通じ, 茨城・つくばの魅力を十分にアピール



大臣会合の様子

ベトナムにアンテナショップをオープン

ハノイのイオンで北関東三県の 食や観光等の魅力を発信 (H28.7.31～H29.2月下旬(予定))

- ・場所:イオン・ロンビエン店内
- ・県産品のテストマーケティングや観光PR等を実施
- ・オープニングイベントでは北関東3県のご当地キャラクターがお迎え



アンテナショップ外観

茨城県北芸術祭の開催

- 開催期間：平成28年9月17日(土)～11月20日(日)【65日間】
- テーマ：海か，山か，芸術か？
- 開催エリア：県北6市町
 (日立市，常陸太田市，高萩市，北茨城市，常陸大宮市，大子町)
- 作品数：約100作品(プロジェクトを含む)
- 主催：茨城県北芸術祭実行委員会
 (総合ディレクター：南條史生(森美術館館長))
- 展示会場(約30箇所)：
 - ①五浦・高萩海浜エリア
 ・天心記念五浦美術館，六角堂，高戸海岸
 穂積家住宅 など
 - ②日立駅周辺エリア
 ・日立駅，日立シビックセンター，日鉱記念館
 常陸多賀駅前商店街 など
 - ③奥久慈清流エリア
 ・道の駅常陸大宮，旧美和中学校，袋田の滝
 常陸大子駅前商店街 など
 - ④常陸太田鯨ヶ丘エリア
 ・鯨ヶ丘地域，道の駅常陸太田
 旧常陸太田市自然休養村管理センター など



地域資源の活用・発信

連続テレビ小説「ひよっこ」H29放映決定

茨城県がNHKのH29年度前期連続テレビドラマの舞台に
H29.4～放映開始（H28秋クランクイン）

- ・脚本家 岡田恵和が3つの思いとの1つとして「茨城県への思い」をあげる
- ・ドラマの舞台：茨城県北西部

※茨城県が連続テレビ小説の主な舞台になるのは、第14作「鳩子の海」に次いで2回目

名称決定「つくば霞ヶ浦りんりんロード」



H28.7

(仮称)水郷筑波サイクリング コースの名称が決定

- ・つくばりんりんロードと霞ヶ浦自転車道などを一体とした総延長約180kmのサイクリングコース
- ・新たな名称決定を契機に、情報発信の強化、県の知名度向上、地域活性化に活用

結婚応援，鉄道延伸の展望

「全国結婚応援フォーラムinいばらき」開催

H28.7.1「いばらき出会いサポートセンター」 設立10周年を記念して開催

結婚支援の機運醸成の必要性について全国に発信

- ・会場：県民文化センター 参加者：1,500名
- ・来賓：内閣府特命担当大臣 少子化対策担当 加藤 勝信
- ・記念講演 作家 林 真理子「私が描いた恋の物語」



交通政策審議会答申

H28.4 国の交通政策審議会が東京圏における今後の都市鉄道のあり方について答申
(概ね15年後(H42年頃)を想定)

つくばエクスプレス

東京延伸に加え，都心部・臨海地域地下鉄
構想との一体整備について答申

⇒つくば国際戦略総合特区と東京駅の直結により
対流の促進が期待

地下鉄8号線

本県西地域への延伸に関し，始めて記述



工場立地面積・件数が全国1位，農業産出額が全国2位

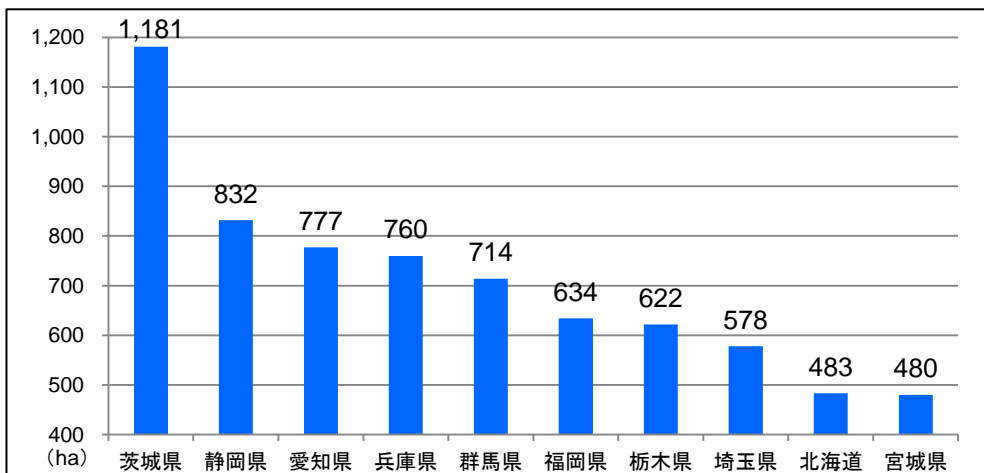
■過去10年間の工場立地面積，県外企業立地件数 ⇒ **全国第1位**

■H27の工場立地件数，工場立地面積，県外企業立地件数

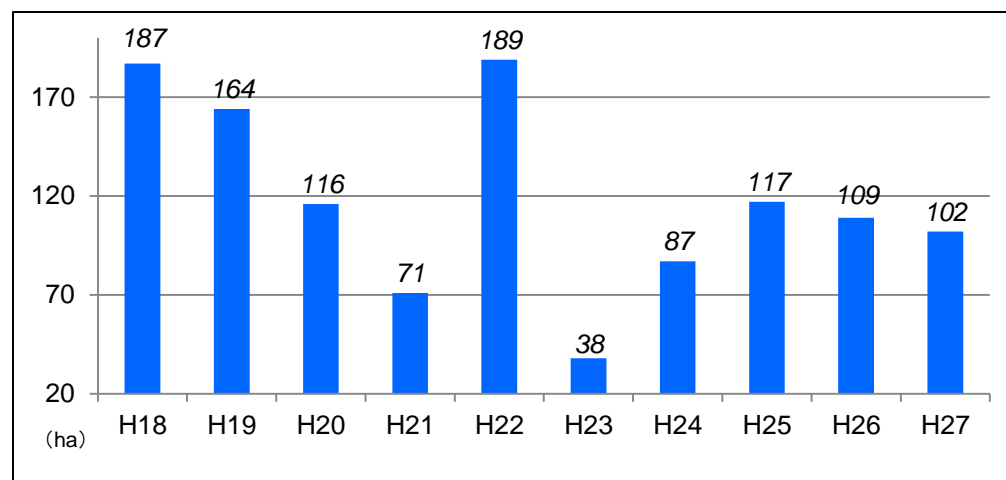
⇒ **全ての項目で 全国第1位**

◎ H25,26に引き続き，**3年連続全国第1位!** * 製造業等(電気業を除く)

【過去10年間の工場立地面積の状況(* 製造業等(電気業を除く)】



【本県の工場立地面積の推移(* 製造業等(電気業を除く)】



■農業産出額 : **全国2位** (H26 : 4,292億円)

■東京都中央卸売市場における青果物の取扱高

: **全国1位** (H27 : 10.0%) **12年連続全国第1位!**

3 人が輝くいばらきづくり



学力向上対策

◆少人数教育充実プラン推進事業

- ・対象：小学生及び中学1年生

※H26より、小学1～4年生→小学5、6年生まで拡充

- ・少人数学級とティーム・ティーチングによる少人数教育
- ・基本的な生活習慣や基礎学力の定着、不登校問題等への対応

◆学びの広場サポートプラン事業(H27~中学生に拡充)

- 算数の補充指導を実施（サポーターを派遣）

- ・対象：小学4・5年生 ・期間：夏休み中に5日間程度

- 数学の補充指導を実施（サポーターを派遣）

- ・対象：中学1・2年生 ・期間：年間通して15時間程度

平成27年度全国学力・学習状況調査

()内は、前回悉皆調査(H26)順位 ※理科は3年程度に1度のためH24順位

小6	国語(知識)	19位(3位)	国語(活用)	14位(12位)
	算数(知識)	20位(11位)	算数(活用)	19位(14位)
	理科	6位(10位)		

中3	国語(知識)	13位(17位)	国語(活用)	7位(10位)
	数学(知識)	35位(32位)	数学(活用)	20位(36位)
	理科	10位(14位)		

- 本県は、10分野中、中学の数学を除く8分野で全国平均を上回った
- 理科や中学の国語で改善が見られた



ティームティーチングによる授業



夏休み期間中の「学びの広場」

理科教育の充実

◆いばらき理科教育推進事業

- ・ 小学校理科の教科担任制の実施（5・6年生理科）
- ・ 理科教育の中核となる教員の養成
- ・ いばらき理科アイテム（中学校教材）の活用・開発

◆科学の甲子園 全国大会 茨城県開催 （H26～28年度）



小学校理科の授業

英語教育の充実

◆国際社会で活躍できる人材育成事業 等

- ・ 英語CD（県独自作成）の配付・活用（H23:歌, H27:会話表現等）
対象：全公立小学校
- ・ 留学経費の支援（H27～）
対象：県立高校・中等教育学校（後期課程）の生徒
- ・ 茨城県高校生国連グローバルセミナー
国連大学において国際問題に関する講義受講・留学生との懇談会を実施
- ・ 英語教員リーダーの養成（中・高等学校）
中核教員をハワイ大学に2週間派遣し、研修後に専門指導員として小・中学校に派遣



発音カソフの活用（中学校）

健康や体力を育む教育

◆ 食育の推進

「茨城県食育推進計画(第三次)」に基づき、児童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けられるよう、学校・家庭・地域が連携し推進。

※ 栄養教諭の配置状況(H28…152名)

○児童生徒の食育推進事業

- ・栄養教諭の指導力向上・いばらき食育推進大会の開催 など

◆ たくましい心と体の育成

学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実を図り、児童生徒の運動意欲を高め、競い合う楽しさや達成感を味わわせる。

○子どもの体力向上支援事業

- ・体力テストの目標値を設定し「体力アップ1校1プラン」を実践
- ・小学校の体育授業に指導教員の補助ができるサポーター(大学生等)を派遣

○第74回国民体育大会推進事業

- ・国民体育大会を開催することにより、広く県民にスポーツを普及し、健康増進と体力向上を図るとともに、競技力の向上等を推進



栄養教諭による食に関する指導

平成27年度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
(文部科学省調査)

【小学5年】

男子 2位(3位) 女子 2位(2位)

【中学2年】

男子 2位(2位) 女子 2位(2位)

※ ()内は、26年度調査順位

豊かな人間性を育む教育の充実

◆いばらき版高等学校「道徳」教育推進事業

- ・全県立高校1年生で「道徳」の授業を必修化
- ・H28年度から高校2年生に「道徳プラス」を拡充

◆茨城県文化振興条例の制定(H27.12)

- ・文化振興施策の総合的な推進を図り、こころ豊かな県民生活及びいつまでも活力に満ち溢れた地域社会の実現に寄与

◆いばらきっ子郷土検定事業

- ・中学2年生を対象に茨城県独自の郷土検定を実施

◆いばらきの魅力再発見事業

- ・小学生が見たり、聞いたり、体験した郷土のよさ（地域自慢）に係る作文・学校HPを募集



道徳授業



常陸風土記

いじめ問題への対応

◆いじめ・体罰解消サポートセンター

- ・県内5箇所教育事務所内に開設 (H24. 10月)
- ・「いじめなくそう！ネット目安箱」の開設
- ・H26. 3. 26 茨城県いじめ防止基本方針策定

いばらきっ子郷土検定

茨城を知ってこそ 茨城のよさが伝えられる
この郷土検定ウェブサイトは、本県の魅力や歴史などについて、県内外の多くの方々に楽しみながら知っていただく機会とするものです。



ごあいさつ

郷土検定	茨城の歴史、文化、人物 自然、観光、農林・水産等 【市町村別問題25問】 【共通問題 25問】を出現 【認定基準】
	1級 45問以上正答
	2級 40問以上正答
	3級 35問以上正答

解説集	茨城県の郷土に関する 情報をまとめました。



就学前教育・家庭教育の推進

◆就学前教育・家庭教育推進事業 (H28新規)

自主性・自立性に富み、社会を生き抜く力を備えた子どもを育てるため、生涯にわたる人格形成を培う幼児期における、就学前教育及び家庭教育の推進施策に総合的に取り組む。

○幼児教育充実事業

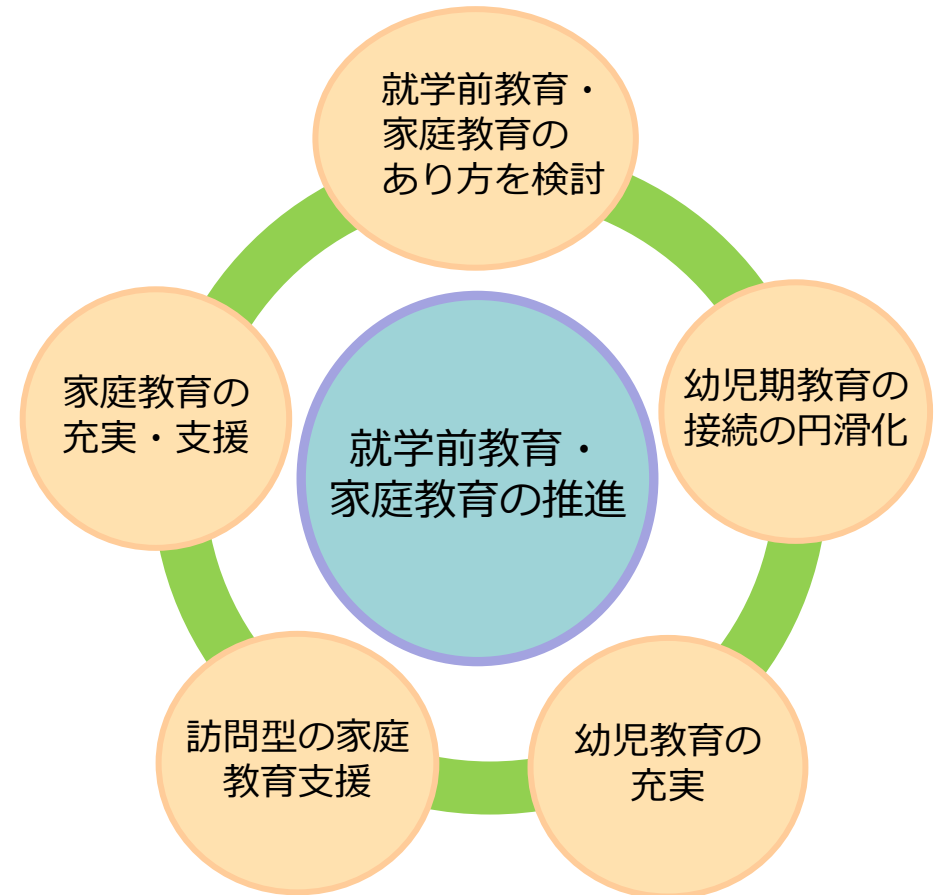
- ・幼児教育の充実
幼児教育研修会 など
- ・幼児期教育の接続の円滑化
幼児教育の接続の円滑化のための研修会の開催 など

○家庭教育充実支援事業

- ・家庭教育ポータルサイトの開設
- ・いばらっき子わが家のおやくそく8か条の作成

○訪問型家庭教育支援事業

- ・訪問型家庭教育支援員の養成 など



女性が輝く社会づくり

多様な主体による連携体制のもと、セミナーや講座の開催、企業の認定・表彰制度等の創設により、職業生活における女性の活躍を支援

1 個人の意識改革

○各種講座の開催

・女性リーダー養成講座 (H28拡充)

対象: 大学生, 働く女性

内容: キャリアアップ, ビジネススキル

開催回数: 3回

・イクボス養成講座

対象: 経営者, 管理職

内容: ワーク・ライフ・バランス意識啓発
男性の育児参加促進 等

開催回数: 4回

2 女性が働きやすい環境づくり推進

○企業の認定・表彰制度の創設 (H28)

○ハーモニートップセミナーの開催

開催時期: 11月15日

内容: 市町村, 企業のトップ向けセミナー
優良取組事例の発表

○企業訪問による啓発

・県の認定制度等の普及, 女性活躍推進のための取組要請

○キャリア相談窓口の運営

・女性の働き方, キャリア形成に関する相談

3 市町村の取組支援

○セミナーの開催等を支援

・「地域女性活躍推進交付金」を活用し, セミナー等の市町村事業を支援

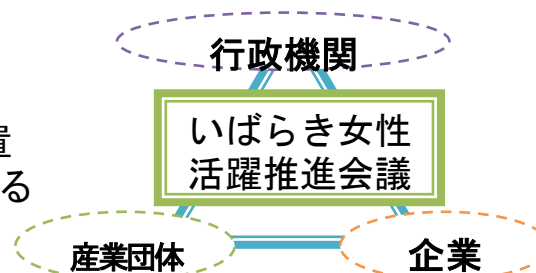
○市町村推進計画の策定支援

・「女性活躍推進法」にもとづく市町村推進計画の策定を支援 (H28)

4 オール茨城での取組推進

○いばらき女性活躍推進会議の設置 (H28.5)

- ・行政機関・産業団体・企業等からなる会議を設置
- ・女性活躍の方針を共有し, 県内企業に浸透を図る
- ・優良企業事例集を作成し, 取組の横展開を図る



(連携内容)

- ・傘下団体等への事業の広報, 周知
- ・セミナー内容の企画助言
- ・優良事例の情報共有
- ・取組方針の共有 など

4 活力あるいばらきづくり



陸・海・空の広域交通ネットワークの整備

■ 4本の高速道路

【開通予定】

- ・圏央道 H28年度県内全線
- ・東関道 H29年度鉾田-茨城空港北

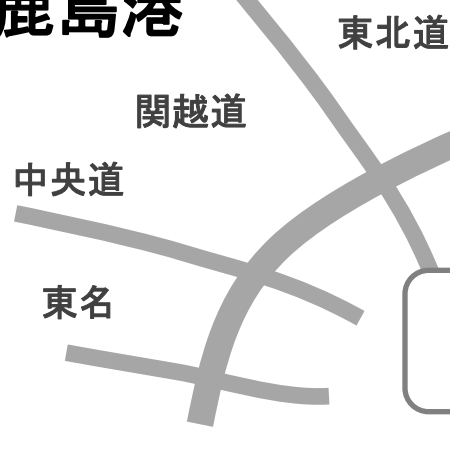
■ 茨城空港

■ 2つの重要港湾

茨城港

- ・日立港区
- ・常陸那珂港区
- ・大洗港区

鹿島港



**H28年度
開通予定**

茨城空港

**H29年度
開通予定**

鹿島港

茨城港



企業誘致

日立建機(株)

◇工場拡張

ひたちなか地区 面積:22.4ha
臨海地区 面積:7.8ha
H25.5 一部稼働

常陸那珂港区

コマツ

◇工場拡張

臨海地区 面積:8.6ha
H25.9稼働

日立港区

東京瓦斯(株)

◇第5埠頭に用地取得(H24.6)

面積:10.4ha(液化天然ガス基地建設)
H28.3 稼働

鹿島港

中国木材(株)

◇鹿島臨海工業地帯に工場拡張

面積:15ha(新集成材工場建設)
H25.4稼働

日野自動車(株)

◇古河名崎工業団地への立地

H24.5 一部稼働, H29年初に全面稼働予定
・面積:約85ha
・圏央道 境古河ICから約10km

雪印メグミルク(株)

◇阿見東部工業団地への立地

H26.11月
阿見工場全ライン稼働

・面積:約13.4ha
・国内3工場を再編, 全国物流拠点を併設
・圏央道阿見東ICから約2km

ファナック(株)

◇つくば明野北部(田宿地区)工業団地に工場拡張予定(H28.6用地取得)

・面積:約28.7ha
・産業用ロボット工場建設を予定

その他

◇MonoTARO(笠間市:9.0ha)

◇日本ジェネリック(つくば市:18.0ha)

◇サイバーダイン(つくば市:8.4ha)

◇大和ハウスDPL阿見霞ヶ浦(阿見町:15.6ha)

■つくば国際戦略総合特区の推進

- ◆今後、成長が期待される、ライフ・イノベーション(健康・医療)と、グリーン・イノベーション(環境・エネルギー)の分野で、
- ◆産学官のすべての関係者が、「目標」を共有し、連携することにより、
- ◆短期間で、新事業・新産業につながる具体的な成果を創出

我が国産業の国際競争力の強化を目指す

■つくば国際戦略総合特区 8つのプロジェクト

4つの先導的プロジェクト

ライフイノベーション分野

■次世代がん治療(BNCT)の開発実用化

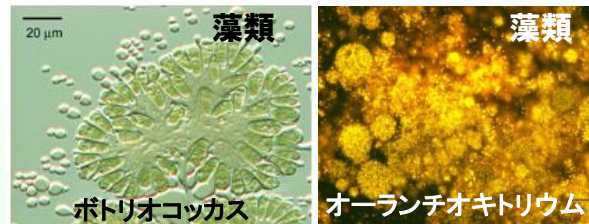


■生活支援ロボットの実用化



グリーンイノベーション分野

■藻類バイオマスエネルギーの実用化



■TIA-nano 世界的ナノテク拠点の形成



4つの追加プロジェクト

■つくば生物医学資源を基盤とする革新的医薬品・医療技術の開発(平成25年10月追加)

■核医学検査薬の国産化(平成25年10月追加)

■革新的ロボット医療機器・医療技術の実用化と世界的拠点形成(平成25年10月追加)

H28.1ロボットスーツHAL

保険適用承認

■戦略的都市鉾山リサイクルシステムの開発実用化(平成27年4月追加)

ロボットイノベーション戦略(H28.3策定)

ロボット技術利用研究会

戦略に基づき、分野別に設置・運営

H28.7.28 第1回(農業分野)開催 ～テーマ「軽労化, 省力化」～

- ・企画部と農林水産部が連携して研究会を立ち上げ
- ・参加者: 農業者や農業団体, ロボット技術の製品化・サービス化を目指す企業, 研究者等(約150名参加)

ロボット等次世代技術実用化推進事業

ロボットに関する研究開発・実用化を支援するとともに、研究開発中のロボットに研究開発中のロボットに実証フィールドを提供するなど社会実装に向けた実証を推進

- いばらきロボット研究開発支援事業
- いばらきロボット実証試験・実用化支援事業

- ①実証試験支援
 - ・実証フィールド調査・紹介・提供 等
- ②実証試験費補助
 - ・実証試験に必要な整備調整, 安全対策等の 経費を補助 (上限2,000千円)
- ③改良費補助
 - ・実証試験を実施した事業者に実用化, 製品化に必要な改良費を補助 (上限10,000千円)

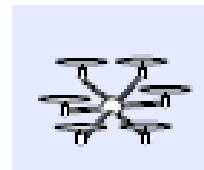
- ロボット社会実証モデルゾーン事業化検討事業

【参考】ロボットの将来市場予測

2015年1.6兆円, 2020年2.9兆円, 2025年5.3兆円, 2035年9.7兆円

【いばらきロボット実証試験・実用化支援事業】
研究開発中のロボット

(例)



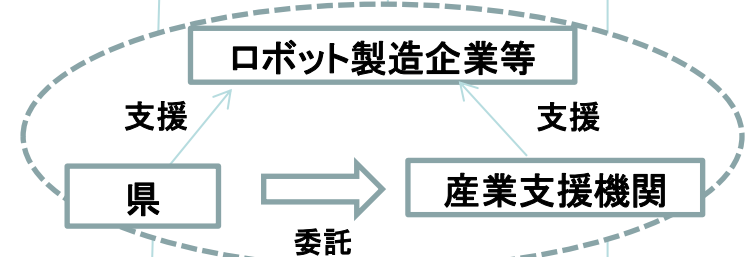
ドローン
(無人飛行機)



コミュニケーション
ロボット



安全運転支援
自動走行



農場



展示施設



自動車専用道路

実証フィールド(例)

いばらき水素戦略

本県が誇る多くの優れた水素関連資源を活かし、燃料電池自動車の普及、水素ステーションの整備など水素の利活用を促進することで、産業振興及び県民生活の向上を図る。

茨城県の水素関連資源



いばらき水素利用促進協議会 (仮称) の設立

●水素の利活用を促進

- 燃料電池自動車の普及及び水素ステーションの整備促進
- 家庭用燃料電池の普及促進 等



つくば春日水素ステーション
(出典：JXエネルギー(株)HP)

●研究開発・新ビジネス創造の支援

- 研究開発、実証試験等の支援
- 製品開発への地元企業参入促進 等

●県民理解の促進と規制緩和

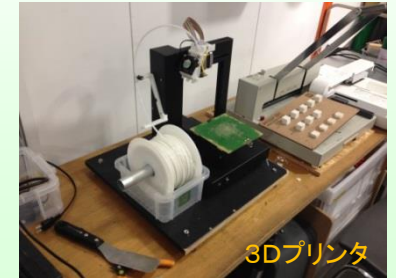
- 水素利用シンポジウムの開催 等

成長市場・海外市場への進出促進

- ◎いばらき成長産業振興協議会
 - ・各研究会での具体的な製品開発支援 等
- ◎グローバルニッチトップ企業育成促進プロジェクト
 - ・医療・介護分野等における機器の開発等を行う企業に対し、ニーズ・シーズ発掘から製品化・現場への導入促進までを支援 (H28拡充)
- ◎北関東三県連携による取り組み
 - ・ベトナムの首都ハノイに北関東三県の県産品をPRするアンテナショップを設置(H28.7) 等

中小企業ものづくり技術高度化の支援

- ◎中小企業テクノエキスパート派遣事業
- ◎オンリーワン技術開発支援事業
- ◎ものづくりマッチング支援事業
- ◎中小企業IoT等自動化技術導入促進事業(H28新規)



コンテンツ産業の振興

- ◎クリエイターの製作活動の拠点となる施設の運営
- ◎クリエイターの育成・発掘
- ◎クリエイターのビジネス展開支援
- ◎コンテストの開催

新たな産業の創出

- ◎いばらき新産業創出ファンドの組成
 - ・県内ベンチャー企業等への投資やハンズオン支援を行う新たなファンドを組成
 - ・投資対象:ベンチャー企業等
 - ・対象分野:つくば戦略特区, 成長5分野等
- ◎ベンチャー企業等支援ネットワーク会議の設置

■ 茨城農業の発展に向けて(主な取組)

平成15年度から「茨城農業改革」を推進
人と産地が輝く、信頼の「いばらきブランド」

◆ 6次産業化の取組

- ・生産のみならず、加工や販売を行う6次産業化に取り組む
農業者を育成・支援
- ・産地単位での「地域ブランド」商品開発支援



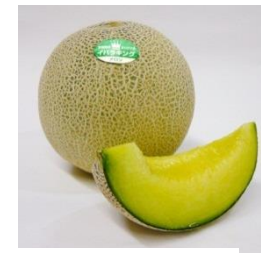
6次産業化商品「大地のミニトマトジュース」

◆ 地理的表示(GI)保護制度の活用

- ・江戸崎かぼちゃが登録(H27.12.22)



江戸崎かぼちゃ



イバラキング



いばらキッス

◆ 県オリジナル品種のブランド化

- ・イバラキング(メロン)、いばらキッス(いちご)等の厳格な
生産・品質基準を徹底、都内百貨店等へ販路を拡大

◆ 地産地消のさらなる推進

- ・茨城をたべよう運動推進協議会(H24年11月設立)
会員は502団体へ拡大
会員企業と連携した地産地消の取組を推進



世界に開かれたいばらきづくり

■ 県内企業の海外販路開拓に向けた取組を支援

○輸出拡大支援員2名を配置し、中国や東南アジアへ派遣するなど、支援企業の取引成立までを支援

ステップ①

○輸出拡大を図る県内中小企業を募集・採択 など

ステップ②

○輸出拡大支援員が採択企業の方針づくりや海外での販路開拓を支援 など

ステップ③

○輸出拡大支援員が海外バイヤー等との商談をフォローアップ など

■ 農林水産物等の輸出拡大に向けた取組の支援

○海外での日本食に対する関心の高まり等により、農林水産物等の輸出に取り組む環境が整いつつある

○国目標：農林水産物・食品の輸出額 現状5,500億円 → 2020年までに1兆円とする目標を前倒し

- いばらき農林水産物等輸出促進協議会(H23.1設立)
- 海外進出サポート協議会をH26.3に設置(会員数社)
- ジェトロ「茨城貿易情報センター」をH26.6水戸市内に開設
- 輸出促進員の設置(青果物:全農いばらき, 常陸牛:常陸牛振興協会, 水産物:漁政課)
- 海外実需者ニーズに対応した輸出用メロンの実証, 輸出米促進協議会の設立・試験輸出



- ◆マレーシア等へのメロン, 梨などの本格輸出(H27.5.11~)※ジェトロ茨城の協力により実現
- ◆常陸牛の販売推奨店として, 海外でも9号店を指定(ベトナム3店, タイ6店)
⇒海外第1号店はシェラトン・ハノイ・ホテル(現地商談会がきっかけ)

■ ベトナムとの友好関係の深化

- ・国家主席が来県し, 本件と農業分野の関係強化に係る覚書を締結
- ・ベトナムとの農業協力の推進
- ・ベトナムで開かれた列国議会同盟(1,700人)・独立記念式典(700人)参加者に常陸牛を提供

観光振興

■観光客の誘客を促進

おもてなし レベルアップ事業

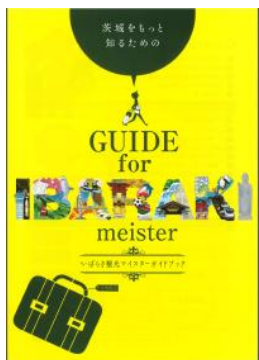
- ・おもてなし県民大会の開催
- ・いばらき観光マイスターの認定
- ・おもてなし講座の開催
- ・観光ボランティアガイドの研修経費助成

来て見て県北 誘客促進等事業

- ・茨城県北芸術祭の入場券(パスポート)と宿泊料金を組合わせた宿泊プランが割引となる「電子クーポン」及び「宿泊割引券」の発行 (H28)

外国人観光客 誘客促進事業

- ・海外の旅行博出展等によるPR・情報発信
- ・海外旅行者へのツアー造成の働きかけ等による誘客促進
- ・免税店舗数拡大支援等による外国人観光客受入体制の整備



本県の魅力を説明する
観光マイスター向け
「ガイドブック」



小学4年生に配布している
「おもてなしハンドブック」



7月1日～7日「おもてなし観光週間」です。
「いばらき観光おもてなし推進条例」に基づく
おもてなし啓発キャンペーン期間です。

毎年7月第1週は
観光おもてなし週間



袋田の滝
(大子町)



六角堂
(北茨城市)



竜神峡
(常陸太田市)

県北芸術祭の舞台となる県北地域の観光資源

日本一のサイクリングロードの整備

■いばらきの優れたサイクリング環境

- 恵まれた自然環境！
- 東京から近い！
- 自転車環境が素晴らしい！
 - ・桜川土浦潮来自転車道線(つくばりんりんロード+霞ヶ浦自転車道=81.35km)は都道府県が管理する自転車道として日本一！
 - ・自転車サポートステーションの整備
 - ・平坦で初心者にも走りやすい
- 関係者からの評価も高い
- 名称が決定
 - ・「つくば霞ヶ浦りんりんロード」
 (桜川土浦潮来自転車道線などを一体とした総延長180km)

■自転車道を活用した地域振興

- 県では、桜川土浦潮来自転車道線(つくばりんりんロード+霞ヶ浦大規模自転車道)などを一体としたものとしてとらえ、平成28年度には以下の取組を実施。
- ・広域の乗り捨て型レンタサイクルシステムの実施
 - ・豊富な地域資源(「食」等)を結びつけたサイクリングツアーの企画・開催等
 - ・地域観光ガイドの人材育成、ポータルサイトの構築
 - ・自転車サポートステーションの登録拡充

※自転車サポートステーション

一般の店舗、コンビニエンスストア等の協力を得て空気入れ、修理用備品、自転車ラックなどを設置し、サイクリストが休憩や雨宿り利用できるようにした施設。

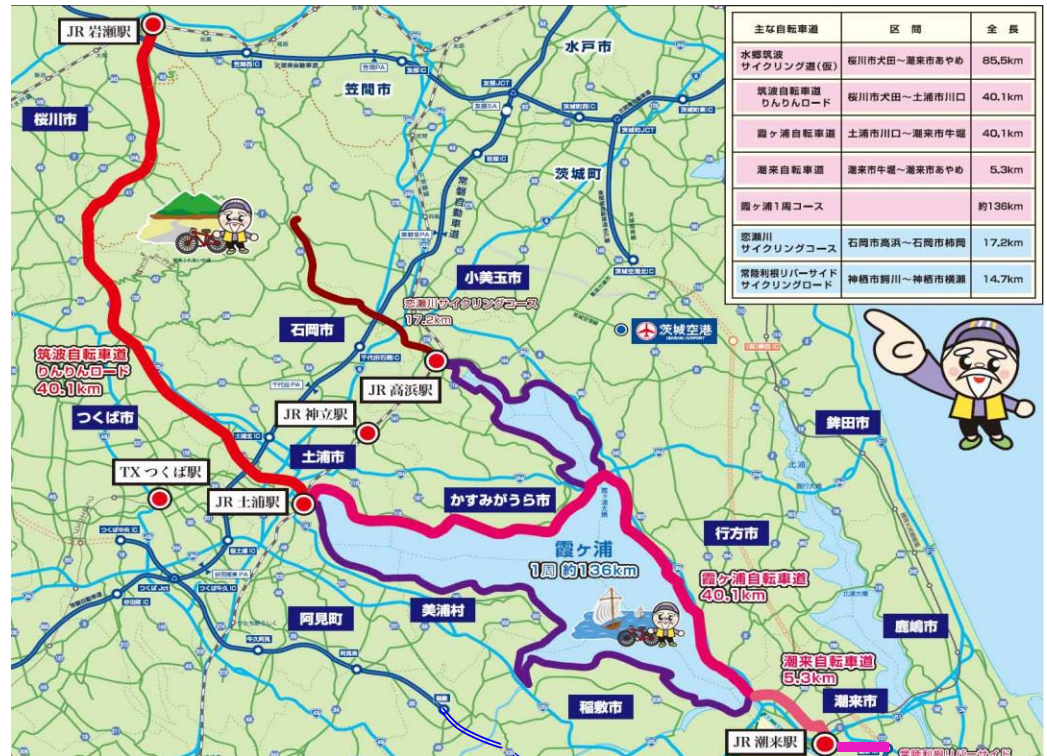
(平成28年3月現在:155箇所設置済み)



■筑波山・霞ヶ浦周辺の主な自転車関連イベント

～ 県外からも多くの参加者が集う ～

- ・霞ヶ浦一周サイクリング大会(霞ヶ浦沿岸) 6月上旬
- ・かすみがうらエンデューロ&グルメフェス(かすみがうら市) 10月上旬
- ・センチリーラン笠間 9月上旬
- ・ツール・ド・さくらがわ(桜川市周辺) 5月中旬
- ・ツール・ド・つくば(筑波山周辺) 6月下旬
- ・筑波サーキット自転車耐久レース 年4回
- ・潮来トライアスロン全国大会(潮来市) 5月下旬
- ・サイクルアートフェスティバル(取手競輪場) 11月上旬



県北地域の振興

県全体が均衡ある発展を遂げていくためには、人口減少が著しい県北地域の振興に取り組んでいくことが必要。

定住人口の確保(働く場の確保)

- ・県北地域ビジネス創出支援事業
- ・クリエイティブ企業等進出支援事業
- ・いばらきさとやま生活発信事業
- ・いばらき移住体験推進事業(お試し居住事業)

県北
地域ビジネス
創出支援事業
未来をカタチに

KENP^県KU
ART 2016
茨城県北芸術祭
2016.9.17-11.20

交流人口の拡大

- ・KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭の開催
総合ディレクター：南條史生(森美術館館長)
テーマ：海か、山か、芸術か？
 - ・いばらき食彩の里推進事業(常陸秋そばのPR)
 - ・県北アウトドア魅力発信事業
 - ・教育・研修旅行等促進事業
- ⇒自然体験など「体験」を軸とした観光を推進

移住・二地域居住の推進

全県的な移住推進体制の整備と情報発信の強化

◇いばらき移住・二地域居住推進協議会の設置

県内44市町村と連携した取組の推進主体

◇都内相談窓口の設置

いばらき暮らしサポートセンター

(有楽町：ふるさと回帰支援センター内)

いばらき移住・就職相談センター

(永田町：県東京事務所内)

◇移住に関する情報発信

移住セミナーの開催，移住交流フェアへの参加

WEB(茨城移住ナビ，いばらきさとやま生活)

移住パンフレット「タライバ」～気づいたらいばらき県民～

ふるさとと県民登録制度の創設

◇県外に住む方へ身近なふるさととしてアピール

県外に住む方に「ふるさと県民証」を発行

(都内相談窓口やWEB登録ページで無料登録)

◇特典1：ふるさと県民証の提示による優待サービス

銀座・茨城マルシェでの割引，県内ホテル・旅館

での優待サービス，レンタカー割引等

◇特典2：季節の情報誌やメルマガによる情報提供

◇特典3：移住促進のための新型住宅ローンの利用

いばらき発残価保証型居住プラン「ゆとりライフ」

常陽銀行との連携協定に基づく全国初の取組

ふるさと回帰フェア2015 H27.9.13



茨城マルシェで開催したPRイベント H28.6.30



UIJターン

- 県内高校卒業後、大学進学者の80.0%が県外に進学
- 県内大学卒業後、就職者の61.7%が県外に就職



本県産業を担う人材の確保・定着を図るため、県内外の大学及び産業界と連携し、本県へのUIJターンと地元定着を促進

いばらき地域しごと支援センター設置事業

H28新規

- ・支援相談員を配置し、しごとと移住等に係るワンストップサービスを提供
- ・移住希望者に対する現地案内の対応と現地案内ツアーの実施

大好きいばらきUIJターン・定着応援“くらぶ”の運営

- ・県、県内外大学等と産業界が連携し、県内就職情報提供と大学及び学生のニーズの情報交換

大好きいばらきインターンシップ促進事業

- ・本県企業の魅力をアピールするインターンシップによるUIJターンの契機づくり

大好きいばらきUIJターン促進事業

- ・県外学生向けの合同就職面接会や魅力発見バスツアー等の開催
- ・大好きいばらき就職応援サイトによる情報発信
- ・父母向けセミナー、学内企業セミナー、若手社員と学生の交流会の開催

地元就職・人材定着支援事業

- ・県内大学向けの就職支援(学内企業セミナー、バスツアーなど)
- ・県内企業向けの支援(企業PR力向上セミナー、大学との交流会など)



いばらきUIJターン就職応援サイトロゴ

5 住みよしいばらきづくり



少子化・子育て対策

◆小児・妊産婦医療費助成の拡充(H28.10～)

- ・所得制限額の緩和
- ・H7児童手当特例給付(393万円) → H24児童手当(622万円)

◆いばらき出会いサポートセンター

- ・H18に全国に先駆けて設立
- ・成婚者数(累計): 1,609組(H28.6末)

◆いばらき子育て家庭優待制度

- ・協賛店舗数: 5,720店舗(H28.7末)
- ・H28.4～ 41道府県で全国共通利用化が開始



「いばらきKids Club」カード

◆保育所の整備, 放課後の居場所づくり

高齢化社会への対応

◆シルバーリハビリ体操の普及

「第4回健康寿命をのばそう! アワード」厚生労働大臣優秀賞を受賞!
(H27.11)

- ・体操指導士養成数: 7,331人(H28.5)

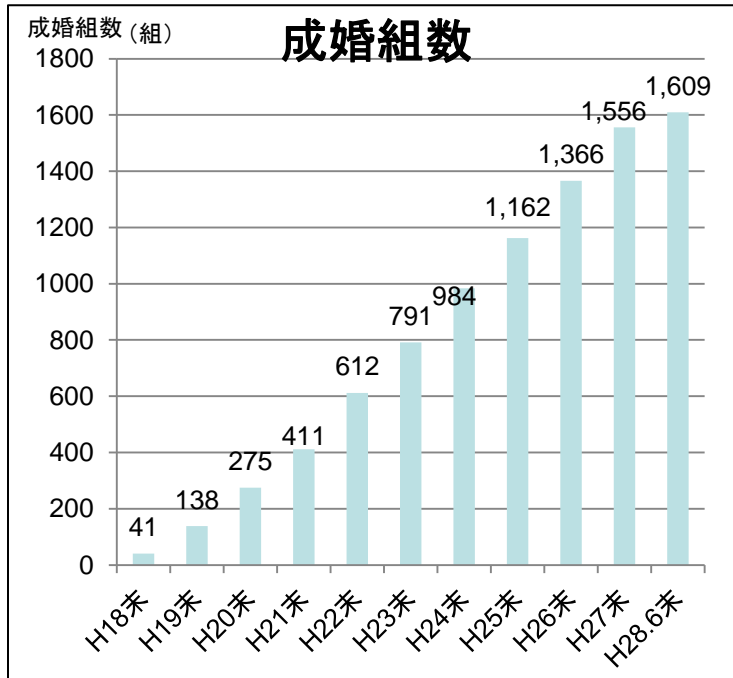
◆いばらきヘルスロードの指定

- ・指定数: 309コース 延長1,095.0km (H28.3)

◆いばらき高齢者優待制度(H26.12～) いばらきシニアカード



いばらき出会いサポートセンターによる成婚組数(累計)



シルバーリハビリ体操

地域医療体制の充実強化

◆医師確保対策の推進

- ・ 地域医療支援センターの設置 (H24. 4)
医師不足地域の病院等への医師派遣調整 等
- ・ 「若手医師教育研修立県いばらき」の推進
総合的診療を学ぶ特訓ゼミの開催 等
- ・ 医科大学との連携による寄附講座の開設
- ・ 茨城県地域枠の設置
- ・ 初期臨床研修医の受入促進
H28春初期臨床研修 マッチ者数 1 5 5 名 (昨年比+8)

◆救急医療体制の充実

- ・ ドクターヘリの運航
H22の開始以来, 3, 900回を超える運航実績
千葉県, 栃木県, 群馬県 (H23. 7~), 福島県 (H26. 6~)
との広域連携
- ・ 鹿行南部地域夜間初期救急センター開設 (H27. 9)



指導医養成講習会



ドクターヘリの運行訓練

地域公共交通を取り巻く状況

- ・公共交通利用者の減少と、相次ぐ鉄道やバスの廃止
 - ※ 公共交通利用者数 S50:342百万人→H26:178百万人 ※ H14~27バス廃止系統数:330系統
- ・コミュニティバスや、乗合タクシー運行市町村の増加
 - ※ コミュニティバス運行市町村数:20 ※ 乗合タクシー運行市町村数:24 (H28.7.1現在)
- ・広域交通ネットワークの再構築及び交通空白地域への対応

茨城県公共交通活性化指針の策定(H27改正)

◆人が輝く元気で住みよい「いばらき」を支える交通ネットワークの構築

3つの
目標

- ① 県民の暮らしを支える利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築
- ② 活発な交流を支える広域公共交通ネットワークの形成
- ③ 持続可能で安全性の高い公共交通の実現

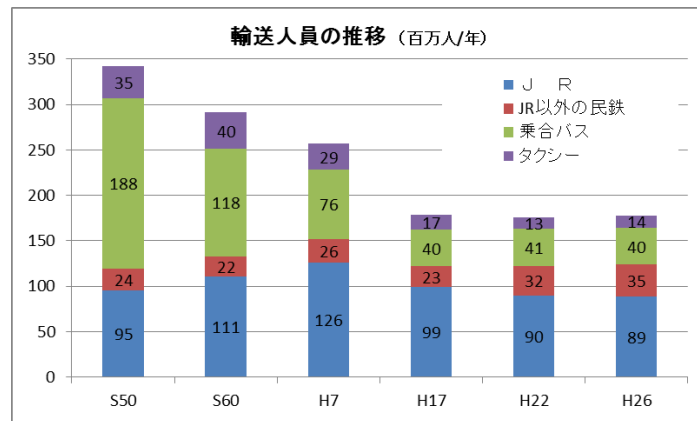
➤公共交通の維持確保・利便向上の取組

- ・地域鉄道の安全輸送設備整備への支援
- ・広域的幹線バス運行事業者への運行欠損支援
- ・廃止代替バスを運行する市町支援
- ・広域交通ネットワーク再構築に取り組む市町村支援
- ・ノンステップバス導入への支援

➤茨城県公共交通活性化会議による公共交通活性化の取組

～県民・地域、交通事業者、行政の連携による公共交通活性化の取組～

- ・公共交通利用促進キャンペーン
- ・各種セミナーの開催
- ・公共交通利用促進活動団体への活動支援 等



国土交通省 旅客地域流動統計



上: 鹿島臨海鉄道

下: 路線バス(ひたちBRT)



小さな拠点の形成の推進

生活サービスの集約と周辺集落との交通ネットワークの確保を図る取組

美浦村の計画

- ・人口16,000人
- ・地域再生計画認定

地域交流拠点の整備

民間小売施設の誘致・整備(民間資本)

デマンドタクシーの運行拡充

連携中枢都市圏の形成

水戸市の取組

定住自立圏形成協定締結(H28.7)

中核市への移行を目指す

将来的に連携中枢都市を目指す
近隣の市町村と連携協力し、
広域的な経済・生活圏を形成



小さな拠点形成のイメージ

環境対策

◆森林湖沼環境税を活用した環境保全対策

- ・ 荒廃した森林の保全・整備
- ・ 県民参加による森林づくり活動
- ・ 高度処理型浄化槽の設置促進
- ・ 県民参加による水質保全活動等

◆酒沼がラムサール条約に登録(H27.5末)

◆H30世界湖沼会議の開催地が本県に決定(H27.10)



霞ヶ浦（帆曳船）



毛布の搬送（学校地域合同防災訓練）

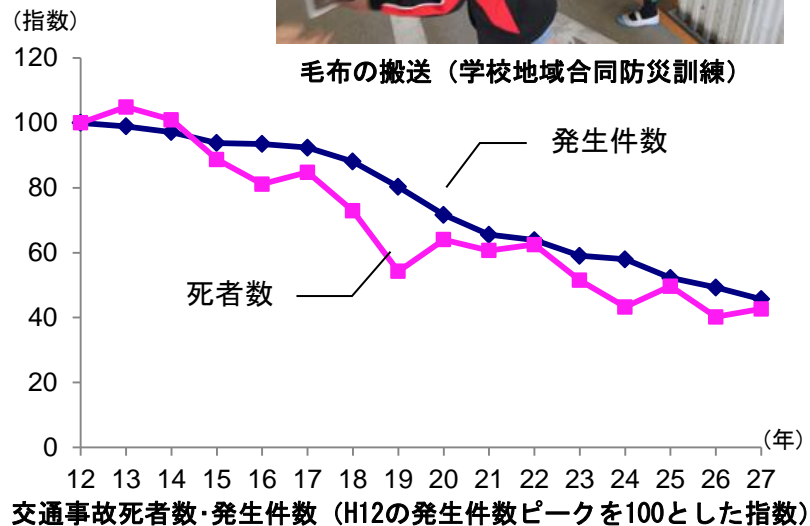
安全・安心な地域づくり

◆防災対策の強化

- ・ 災害に強い県土づくり
(津波や高潮から生命・財産を守る堤防の嵩上げ、
災害発生後72時間以内での緊急輸送道路の啓開等)
- ・ 防災情報ネットワークの再整備
- ・ 自主防災組織の結成促進，総合防災訓練の実施
- ・ 地域防災計画の見直し
- ・ 防災拠点等への太陽光発電設備等の整備 など

◆交通安全対策の推進

- ・ H27交通事故死者数 140人（前年比+8人）
うち高齢者（65歳以上） 69人（前年比+9人）



6 いばらきの魅力度向上に向けて



全国上位の統計指標、住みよさランキング

主要な項目

人口(*1)	2,918千人	全国 第11位(H27.10.1)(速報値)
可住地面積	3,982.47km ²	全国 第4位(H26.10.1)
1人当たりの県民所得	3,138千円	全国 第8位(H25年)
工場立地面積 (電気業を除く)	1,181ha	全国 第1位 (10年間 累計[H18~H27年])
製造品出荷額等	11兆4,085億円	全国 第8位(H26年)
農業産出額	4,292億円	全国 第2位(H26年)
海面の漁獲量	223千t	全国 第3位(H26年)
つくばの研究者数	20,431人	うち博士号保持者7,589人(H26.1)
耕地面積割合	28.3%	全国 第1位 (H26.7.15)
住宅敷地面積(1住宅当たり)	424.79m ²	全国 第1位 (H25.10.1)
道路実延長	55,829km	全国 第2位(H26.4.1)
高齢者近住率(*2)	71.9%	全国 第10位(H25年)

(*1)「国勢調査速報」(総務省統計局)

(*2)子どもが同居、同一家屋、同一敷地及び近隣地域に住んでいる65歳以上人口の割合

産業拠点

●本県の工場立地動向(電気業を除く) 3年連続3冠達成

		H23	H24	H25	H26	H27
面積	ha	38	87	117	109	102
	順位	7	2	1	1	1
件数	件	18	30	55	75	78
	順位	20	11	1	1	1
県外	件	12	18	30	36	45
	順位	6	4	1	1	1

豊富な農林水産物

●全国に誇る主要農林水産物(品目別産出額)

全国第1位	全国第2位	全国第3位
鶏卵、メロン、ピーマン、芝 レンコン、ほしいも、みず菜 チンゲンサイ、切り枝、みつば セリ、かんしょ	レタス、梨、はくさい ごぼう、くり、落花生 らっきょう、花木類(鉢) こまつな	ねぎ、にら、かぼちゃ スイートコーン、春菊 ほうれんそう、そらまめ こんにゃくいも、しそ
えび類(内水面)、まいわし さば類、あゆ、こい(養殖)	しらうお わかさぎ、はげ類	しじみ、うなぎ

(注)水産物は漁獲量で比較

●東京都中央卸売市場における茨城県産青果物のシェア(金額)

→ 12年連続 第1位 (H16~H27)

住みよさランキング2016

(H28.6公表 東洋経済新報社)

◇上位100位以内に5市がランクイン

市町村名	総合評価 全国順位	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準 充実度
守谷市	11	684	21	30	64	405
つくば市	12	188	31	20	43	716
那珂市	40	362	82	197	428	149
神栖市	41	308	417	250	30	457
かすみがうら市	81	213	94	446	403	292

【参考】他都道府県との比較

○首都圏(1都7県)の100位以内ランクイン数 2位

○全国の100位以内のランクイン数 7位タイ

1位:富山県9市, 2位:愛知県7市,
3位:千葉県・石川県・長野県・滋賀県6市
7位:茨城県・新潟県・福井県・兵庫県5市

茨城マルシェ, いばキラTV, いばらきイメージアップ大賞

いばらきアンテナショップ

茨城マルシェ

IBARAKI MARCHÉ

- ・場所 山手線「有楽町駅」徒歩約3分,
有楽町線「銀座1丁目駅」徒歩約1分
- ・茨城の様々な情報をお客様に伝える
コンシェルジュを配置

いばキラTV

- ・茨城県の魅力を伝えるインターネット動画サイト
- ・平成24年10月から配信開始
- ・都道府県の動画サイトではダントツの動画数, 視聴数
- ・大人気YouTuber「HIKAKIN」の動画も配信中

H28.7.1 全面リニューアル

いばキラTV

いばらきイメージアップ大賞

H27年度受賞取組(H28.2.5表彰式)

○大賞 水戸芸術館

～吉田秀和, 森英恵, 小澤征爾と共に育む
芸術文化発信拠点～

○ウラ大賞 ねば～る君

○奨励賞 ・2年連続どんぶり王座
友部サービスエリア(上り線)
・ラムサール条約登録湿地 涸沼



いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会の開催

	第74回国民体育大会	第19回全国障害者スポーツ大会
開催時期	平成31年(2019年) 9月28日～10月8日 *45年ぶりの本県開催	平成31年(2019年) 10月12日～10月14日
愛称	いきいき茨城ゆめ国体	いきいき茨城ゆめ大会
スローガン	翔べ 羽ばたけ そして未来へ	国体と同じ
参加者数 (選手・監督・役員)	約23,000人	約5,500人



2020年 東京オリンピック・パラリンピック

○開催期間:

平成32年(2020年)

7月24日(金)～8月9日(日)

8月25日(火)～9月6日(日)

【期待される効果】

- ・地域振興としてのキャンプ地の誘致
- ・海外からの観光客の呼び込み、ホストタウン等を通じた国際交流の推進
- ・前年の茨城国体と連動した選手・ボランティア育成などの相乗効果 など



茨城県立カシマサッカースタジアムがサッカー会場追加候補に

御清聴ありがとうございました。



「平成28年度いばらきを知ろう！大キャンペーン」実施中！